

年 組 名前

次の（ ）に入る言葉をスライドプリントから探して記入しましょう（30点満点）

<血液>

1. 血液の量は、体重のほぼ（ア）%である。
2. 動脈血は、（イ）色、静脈血は、（ウ）色を呈しているが、これには血液中の（エ）や二酸化炭素が関与している。
3. 血液の成分は、（オ）成分と液体成分に分けられ、（カ）成分の中には赤血球、白血球、血小板が含まれる。また、液体成分には、血清と（キ）が含まれる。
4. 血漿は91%が水であり、アルブミン、グロブリン、フィブリノゲンという（ケ）と栄養素や電解質、ホルモンや酵素などが含まれる。
5. 血液の血球成分とは、（ケ）、（コ）、血小板のことをいう。
6. （サ）の形は中央がややくぼんだ円盤状であり、容易に変形することが可能である。
7. 赤血球の寿命は（シ）日であり、成熟の過程で（ス）を失う。
8. 貧血とは、血液中の赤血球や赤血球に含まれる（セ）量が少なくなった状態をいう。
9. 白血球の形はさまざまであり、大きさは血球成分の中で白血球が最も（ソ）。
10. 白血球の種類は、顆粒球と無顆粒球に大別でき、顆粒球は、（タ）・好酸球・好塩基球に分別できる。さらに、無顆粒球は、（チ）・リンパ球に分別できる。
11. 好中球と単球は、（ツ）運動によって毛細血管の壁を自由に通過して病巣に達し、細菌その他を細胞内に取りこむ（テ）を持っている。
12. 単球は、取り込んだ異物の情報を体内に知らせる能力があり、これが（ト）の引き金になる。
13. 免疫には、自然免疫と獲得免疫がある。獲得免疫には、抗体を作らない（ナ）免疫と、抗体を作る（ニ）免疫がある。
14. 血小板は、核を持たない細胞小片であり、（ヌ）に関与する。
15. 血液凝固のしくみは、まず（ネ）が損傷された血管に集まり、損傷部位を一時的に塞ぐ。その後、血漿中の可溶性成分であるフィブリノゲンが不溶性の（ノ）に変わり、線維素の網目に血球がからみついて血餅ができる。

＜骨格＞

1. 骨を形状により分類すると、(ハ)・短骨・扁平骨・(ヒ)に分けられる。
2. 長骨は、管状骨ともいい、両端を (フ)、中央部を骨幹といい、骨幹の中には (ヘ)を入れる髄腔がある。
3. 成長中の小児の骨には、骨幹と骨端の境に (ホ) があり、成長が完成すると骨端線として痕跡が残る。